

令和8年2月5日

東連携型小中一貫校保護者様

東連携型小中一貫校学校運営協議会

会長 内田 孝嗣

藤岡市立東中学校

校長 永田伊知郎

藤岡市立藤岡第一小学校

校長 宮澤 克巳

藤岡市立美里東小学校

校長 山田 康成

藤岡市立美里西小学校

校長 小熊 悅子

東連携型小中一貫校の教育活動に関する調査（学校評価）結果について

余寒の候、皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察申しあげます。また、日頃より、東連携型小中一貫校の教育活動に対して、ご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、昨年12月に実施した「東連携型小中一貫校の教育活動に関する調査」では、お忙しい中ご回答ください誠にありがとうございました。調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。今後も保護者の皆様のご意見を参考にしながら、東連携型小中一貫校をさらによい学校とするよう、学校運営協議会・学校が力を合わせて取り組んでまいります。

調査結果の概要（成果○と課題●）

一貫校として、調査結果をもとに教育活動を振り返り、次のようにまとめました。

I 「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」について

○全体的に、保護者・児童生徒から、例年同様の高い評価を得ることができ、本校区で行っているコミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育が根付いている様子がうかがえます。特に、児童に対する質問「④地域の教育力の活用」では、肯定的な回答が89%でした。これは、学校ボランティアの方々に様々な学習支援等をしていただいている成果と考えます。今後も地域の教育力や地域の方々との人間的なつながりを大切にしながら教育を充実させていきます。

II 「高い知性」について

○児童生徒の回答が、「①授業がよく分かる（89%）」「③『これまで』『ここでは』『このあとは』を・・・授業が分かりやすいと感じる（85%）」でした。学校では今後も、本項目の児童生徒の回答が100%に近づくよう、確かな学力の定着と「学び合い、伝え合う力の育成」に重点を置きながら、児童生徒が主体的に学習する授業づくりを進めていきます。

●「④家庭学習の習慣」に関する調査では、教員、保護者、児童生徒の回答がいずれも80%未満とやや低い結果でした。児童生徒への意識付けや、取り組み方の指導を行うとともに、発達段階に応じた家庭学習のあり方について、保護者への情報提供を図っていきます。

●「⑤読書習慣の形成」に関する調査では、教員が95%と高い割合で「形成に努めている」と回答しているのに対して、児童生徒の回答が71%とギャップがあります。児童生徒に読書の楽しさを味わわせるための読み聞かせの継続、委員会によるブックトークやビブリオバトルなどの企画、より魅力的な図書館の経営に取り組みます。

III 「豊かな心」について

○本一貫校では、人権教育を学校教育の中核にすえて、児童生徒の望ましい人間関係づくり、いじめ防止等に取り組んでいます。児童生徒の回答では、「①互いに認め合い思いやりの心をもって協働している。（92%）」「④いじめのない学校づくりのために、いじめ防止活動に取り組んでいる。（90%）」となっており、全体的に意識が高い様子がうかがえます。学校では、今後も全教育活動を通じて、児童一人一人のよさや個性を認め励ましながら、自己肯定感や自己有用感を育むと共に、自他を尊重し豊かな感性を身に付けられるように努めています。

●「②あいさつの実践」に関する調査では、教員、児童生徒の回答が89%と高いのに対して、保護者からの回答が、76%とやや低くなっています。一貫校における毎日のあいさつ運動や地域でふれあうあいさつ運動について、HPやメールでの周知を強化し保護者との協働による取組となるようにしていきます。

IV 「たくましい気力・体力」について

○「①感染症予防」「④安全意識の向上」における児童生徒の回答が90%以上となっており、児童生徒が安全な学校生活を送ろうとしている様子がうかがえます。今後も、健康・安全教育全般について、様々な関係機関と連携したり、体験的な活動を取り入れたりしながら、実践力を養えるよう取組をすすめていきます。

●「②運動習慣の形成」「③情報モラル教育」では、教員の回答が90%以上なのに対して、児童生徒及び保護者の回答が80%前後とやや低い状況があります。児童生徒が自分事ととらえながら学習できるよう工夫するとともに、学校の取組を保護者に積極的に情報提供し、協働しながら取組を推進していきます。

V 「その他」について

●「①連絡相談の体制」では、教員の97%が「体制づくりを行っている」と回答しているのに対して、保護者の回答は76%にとどまり、児童生徒の回答は65%と低くなっています。一貫校における教育相談体制を児童生徒及び保護者に周知とともに、全員面談やチャンス面談を積極的に行っていきます。

学校関係者評価

一貫校が行った「調査結果の概要（成果○と課題●）」をもとに、学校運営協議会として、次のように評価しました。

I 「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」について

・いずれの項目においても高い評価となっていますが、教員の評価に対して、保護者の評価がやや低くなっています。その理由として、保護者にこれらの内容を知る機会が少ないのでと考えます。「思わない」ではなく「知らない」のかも知れません。取組について保護者に伝わるような広報の工夫が必要でしょう。また、このような教育活動を行うことで、教員の実感として「児童生徒のためになっている」という評価項目があつても良いのではと感じました。「感染症に配慮しながら」という文言など作成当時の状況が反映されているところもあるので、そういう部分も含めて、評価項目の見直しを進めが必要となりそうです。

II 「高い知性」について

・「家庭学習の習慣」について、模範となる家庭学習ノートを掲示したり、家庭学習の方法を具体的に教えたりといった取組をさらに充実するとともに、予習を宿題にするなど家庭学習の必要性を児童生徒に意識させる手立てを取り入れるのも一つの方法かも知れません。家庭学習の習慣は簡単には身につきません。学校と家庭が連携し協力して、継続的に行ってほしいと思います。

・「読書習慣」について、帰りの会などで本の紹介を行うなど本に親しむ機会をさらに増やしてはどうでしょうか。また、「ふじまる」とタイアップし、図書館司書と会話しながら本の世界を広げるなど、児童生徒のモチベーションを高める手立てを取り入れるのも良いかも知れません。

III 「豊かな心」について

・「あいさつの実践」についても、学校での取組が保護者に伝わっていないため、相対的に評価が低くなっている可能性が考えられます。「いじめ」についての保護者の評価が低い理由も、同様かも知れません。学校での取組が保護者や地域に伝わるような広報の工夫が必要でしょう。

IV 「たくましい気力・体力」について

・「運動習慣」について、家庭の多様化が進んでいる現状を考えると、この評価項目では評価するのが難しいようにも思えます。評価項目の見直しを進めが必要となりそうです。

・「情報モラル」について、保護者の評価がやや低くなっています。それは、「思わない」ではなく「知らない」のかも知れません。取組について保護者に伝わるような広報の工夫が必要でしょう。また、スマホやインターネットの危険を指導する際、事の重大さをしっかりと保護者、児童生徒に理解してもらうために法的責任について学ぶのはどうでしょう。

V 「その他」について

・「連絡・相談体制」について、学校が相談しやすい体制作りを行っていることを、保護者や児童生徒が気づいていない可能性が考えられます。相談する相手は担任だけではなく、すべての学校職員やスクールカウンセラーなど学校関係者であり、学校はチームであるということを広く知らせる工夫が必要でしょう。

◇東連携型小中一貫校 4 校 職員・保護者・児童生徒の調査結果（令和 7 年 12 月実施）

『AB欄(A:当てはまる B:やや当てはまる の合計%)、評価欄(◎90%以上 ○80~89% ▽69%以下)』

評価内容	評価項目	対象者	AB	評
I C S を 基 盤 と し た 小 中 一 貫 教 育	①保護者への情報提供	あなたは、学校が各種たより（学校・学年・学級・保健等）やホームページなどを通して、学校での子どもの様子を家庭や地域に伝えていると思いますか。【学校】	職員	100
		学校は、各種たより（学校・学年・学級・保健等）やホームページなどを通して、学校での子どもの様子を伝えていると思いますか。	保護者	89
		あなたは、学校がホームページや各種たより（学校・学年・学級・保健など）などを通して、学校での生徒の様子を家庭や地域に伝えていることを知っていますか。	児童生徒	79
	②小中一貫教育	あなたは、学校が目指す子ども像を共有する「東連携型小中一貫校」として、9年間の学びのつながりを大切にした教育活動を進めていると思いますか。【学校】	職員	97
		学校は、東中校区の3小学校と東中学校が、目指す子ども像を共有する「東連携型小中一貫校」として、9年間の学びのつながりを大切にした教育活動を進めていると思いますか。	保護者	83
		あなたは、学校が「東連携型小中一貫校」として共通の目標を持ち、学びのつながりを意識した共通の授業を行うために先生方が一貫校内で授業を見合ったり、合同で研修をしたりしていることを知っていますか。	児童生徒	79
	③コミュニティ・スクール	あなたは、学校が「コミュニティ・スクール」として、子どもたちの学びや成長を支える体制づくりに取り組むために「東連携型小中一貫校学校運営協議会」を設置し、地域と一体になった学校づくりを進めていると思いますか。【学校】	職員	98
		学校は、東中校区の3小学校と東中学校が「コミュニティ・スクール」として、子どもたちの学びや成長を支える体制づくりに取り組むために「学校運営協議会」を設置し、地域と一体になった学校づくりを進めていると思いますか。	保護者	82
		あなたは、学校が「コミュニティ・スクール」として地域の方々と協力して児童・生徒の学習や成長を支える活動をしていることを知っていますか。	児童生徒	84
	④地域の教育力の活用	あなたは、学校が感染症に配慮しながらもできる範囲で、地域学習や社会科見学、地域の方をお招きしての活動等、地域の教育力を生かした活動を行っていると思いますか。【学校】	職員	94
		学校は、感染症に配慮しながらもできる範囲で、地域学習や社会科見学、地域の方をお招きしての活動等に取り組んでいます。地域の教育力を生かした学校の取組は十分だと思いますか。	保護者	87
		あなたは、地域のことを学習したり、地域の方から色々なことを教えていただいたり、一緒に勉強や活動をしたりすることは楽しいと感じますか。	児童生徒	89

Ⅱ 高 い 知 性	①分かる授業 の実践	あなたは、基礎的・基本的な内容の定着を図ったり、「めあて」と「まとめ・ふりかえり」を明確にしたりするなどして、「分かりやすい授業」を行っていますか。【個人】	職員	95	◎
		学校は、基礎的・基本的な内容の定着を図ったり、「めあて」と「まとめ・ふりかえり」を明確にしたりするなどして、「分かりやすい授業」を行っていると思いますか。	保護者	82	○
		あなたは、授業がよくわかりますか。	児童生徒	89	○
②学び合い・ 伝え合う力の 育成		あなたは、グループで話し合わせたり、話し合った結果を発表させたりするなど、友達の考えを参考にして物事を考えさせる学習を行い、子どもたちの「学び合い・伝え合う力の育成」を図っていますか。【個人】	職員	92	◎
		学校は、グループで話し合ったり、話し合った結果を発表させたりするなど、友達の考えを参考にして物事を考えさせる学習を行っています。このような取組は、子どもたちの「学び合い・伝え合う力の育成」に効果があると思いますか。	保護者	85	○
		あなたは、授業中にグループで話し合いや発表をしたあとで、自分の考えと友達の考えを比べ、自分の考えに自信を持ったり修正したりすることができますか。	児童生徒	82	○
③小中一貫教 育の授業（ア クション1－ 1）		あなたは、小中学校の学習内容の系統を確認したり、前に学習したことを教材にして課題を解決したりするなど、9年間の学びのつながりを大切にした授業に取り組んでいますか。【個人】	職員	95	◎
		学校は、小中学校の学習内容を一覧で示したり、前に学習したことを教材にして課題を解決したりするなど、9年間の学びのつながりを大切にした授業に取り組んでいます。このような取組は、学力向上に効果があると思いますか。	保護者	85	○
		あなたは、「これまで」「ここでは」「このあとは」を確認したり、前に学習したことを見直すことをヒントに考えたりすることで、授業がわかりやすいと感じますか。	児童生徒	86	○
④学習習慣の 形成（アクシ ョン1－2）		あなたは、子どもに目標や計画を立てさせたり、授業と関連した学習内容を指示したりして、毎日、家庭学習をする習慣を身に付けさせていますか。【個人】	職員	79	
		学校は、子どもに目標や計画を立てさせたり、授業と関連した学習内容を指示したりして、毎日、家庭学習をする習慣を身に付けさせていると思いますか。	保護者	77	
		あなたは、毎日、家庭学習をする習慣が身に付いていますか。	児童生徒	74	

	⑤読書習慣の確立（アクション1－3）	あなたは、学校が朝読書や図書館の活用、読み聞かせ等を通して、子どもの読書習慣の形成に努めていると思いますか。【学校】	職員	95	◎
		学校は、朝読書や図書館の活用、読み聞かせ等を通して、子どもの読書習慣の形成に努めていると思いますか。	保護者	81	○
		あなたは、朝読書や図書館の活用、読み聞かせ等により、読書に親しむようになっていますか。	児童生徒	71	
Ⅲ 豊かな心	①感謝・思いやりの心の育成（アクション2－1）	あなたは、道徳や学活、児童会・生徒会を中心とした活動などにより、温かい人間関係づくりに努め、子どもたちに感謝・思いやりの心を育んでいますか。【個人】	職員	98	◎
		学校は、道徳や学活の授業、児童会・生徒会活動などにより、温かい人間関係づくりに努めています。このような取組により、子どもたちに感謝・思いやりの心が育まれていると思いますか。	保護者	82	○
		あなたと友達は、互いに認め合い、思いやりの心をもって協働することができますか。	児童生徒	92	◎
	②あいさつの実践（アクション2－1）	あなたは、学校があいさつ運動等を通してあいさつの大切さを指導することで、あいさつ習慣の定着した子どもを育てていると思いますか。【学校】	職員	89	○
		学校は、あいさつ運動等を通してあいさつの大切さを指導しています。その成果が表れていると思いますか。	保護者	76	
		あなたは、学校や家であいさつをよくしていますか。	児童生徒	89	○
	③よさを認め、ほめ、伸ばす（アクション2－2）	あなたは、「よさを認め、ほめ、伸ばす」やる気の生徒指導に取り組み、子どもたちの意欲を高めていると思いますか。【個人】	職員	97	◎
		学校は「よさを認め、ほめ、伸ばす」やる気の生徒指導に取り組み、子どもたちの意欲を高めていると思いますか。	保護者	80	○
		あなたは、先生が生徒一人一人を大切にし、よいところを、ほめ、頑張るよう指導してくれていると思いますか。	児童生徒	83	○
	④いじめ問題撲滅に向けた組織的取組（アクション2－3）	学校は、あいさつ運動や人権に関わる児童生徒集会等により、いじめのない学校づくりに努めています。あなたは、その成果が現れていると思いますか。【学校】	職員	91	◎
		学校は、あいさつ運動や人権に関わる児童会・生徒会活動などにより、いじめのない学校づくりに努めています。その成果が現れていると思いますか。	保護者	77	
		あなたは、いじめのない学校づくりのために、な：なくそういうじめ、か：交わそうあいさつ、ま：学ぼうみんなで を意識していじめ防止活動に取り組んでいますか。	児童生徒	90	◎

IV たくましい気力・体力	①感染症対策 (アクション 3-1)	あなたは、学校が感染症予防のために、手洗い・うがい等、適切な対策をとっていると思いますか。【学校】	職員	94	◎
		学校は、感染症予防のために、手洗い・うがい等、適切な対策をとっていると思いますか。	保護者	79	○
		あなたは、感染症予防のために、手洗い・うがい等の対策をとって生活していますか。	児童生徒	91	◎
	②運動習慣の形成 (アクション 3-2)	あなたは、学校が運動量を確保した体育授業、休み時間の外遊び、部活動等で子どもたちの運動習慣形成に努めていると思いますか。【学校】	職員	92	◎
		学校は、運動量を確保した体育授業、休み時間の外遊び、部活動等で子どもたちの運動習慣形成に努めていると思いますか。	保護者	83	○
		あなたは、毎日、健康の保持増進を意識した体力づくりをしていますか。	児童生徒	80	○
	③情報モラル教育 (アクション 3-3)	あなたは、学校がスマホやインターネットの危険性や正しい使い方を指導していると思いますか。【学校】	職員	94	◎
		学校は、スマホやインターネットの危険性や正しい使い方を指導していると思いますか。	保護者	77	○
		あなたは、学校でスマホやインターネットの危険性や正しい使い方を指導されたことがありますか。	児童生徒	83	○
	④安全意識の向上	あなたは、学校が避難訓練（地震、火災、不審者）、交通安全教室、安全点検等を計画的に実施し、子どもたちの安全意識の向上に努めていると思いますか。【学校】	職員	97	◎
		学校は、避難訓練（地震、火災、不審者）、交通安全教室、安全点検等を計画的に実施しています。この取組は、子どもたちの安全意識の向上に効果があると思いますか。	保護者	86	○
		あなたは、避難訓練（地震、火災、不審者）に真剣に参加したり、交通安全に気をつけて登下校したりしていますか。	児童生徒	94	◎
V その他	①連絡・相談体制の構築	あなたは、学校が学習指導や生活指導等のことで、連絡（相談）がしやすい体制づくりを行っていると思いますか。【学校】	職員	97	◎
		学校は、学習指導や生活指導等のことで、連絡（相談）がしやすい体制づくりを行っていると思いますか。	保護者	76	○
		あなたは、学習や友達のこと、生活のことを、学校の先生に安心して相談することができますか。	児童生徒	65	△
	②目指す子ども像の達成度	あなたは、「よく考える子（小）」ですか。「自主（中）」できていますか。	児童生徒	80	○
		あなたは、「思いやりのある子（小）」ですか。「共生（中）」できていますか。		87	○
		あなたは、「じょうぶな子（小）」ですか。「挑戦（中）」していますか。		82	○